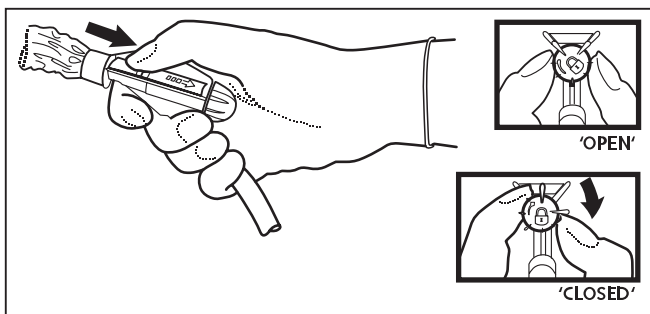


【使用方法等】

〈使用前の準備〉

1. 患者に接続する前にコントロールバルブブロックを「OPEN」に確実に回してください。コントロールバルブを後ろにスライドさせることによってコントロールバルブの操作をチェックします。
2. Tピースの場合、使用しない側に付属のキャップを取り付けます。
3. 本品を患者に接続する前に、サクシオンコネクタを吸引ラインに接続し吸引圧の調整を行います。
4. 吸引圧を設定する際は、臨床上の判断に基づいてください。気管及び気管支内の分泌物を効果的に移動することができる必要最小限の吸引圧を選択することを推奨します。気道内圧の変動や設定PEEP圧の変動、気圧性外傷、気胸、無気肺、低酸素血症の発症を最低限にすることができます。
定量換気、I:E比逆比換気を行っている場合には、過度な陽圧もしくは陰圧がかかる可能性が高いので、本品は使用しないでください。
5. Tピース（Wスイベル）型コネクタの機械側端に吸引ラインを接続します。
6. Tピース（Wスイベル）型コネクタの患者側端に気管内チューブ又は気管切開チューブの15mmコネクタを接続します。



〈吸引方法〉

患者に吸引前の酸素化をしておくことを推奨します。

1. コントロールバルブブロックが「OPEN」の位置にあるのを確認してください（図参照）。確認できたら、患者側端をしっかり持って、サクシオンカテーテルを必要な深さまで押し進めてください。抵抗があった場合は2～3cm引き戻してください。
2. コントロールバルブを握って、親指で後方へスライドさせてください。吸引を最大にするにはコントロールバルブを完全にスライドさせてください。
3. 吸引を行っている状態でゆっくりとカテーテルを引き戻します。チューブが閉塞しないように真っ直ぐに、青色のマークが完全にスリーブの中に見える位置まで引き戻します。
4. 吸引操作が完了したら、分泌物が溜まりカテーテルが閉塞したり、コントロールバルブが部分的にしか開かず吸引を妨げたりする恐れがあるため、カテーテルを生食塩液で洗浄します。

〈洗浄方法〉

1. カテーテルの青色のマークがスリーブの中に完全に見えることを確認できたら、洗浄を始めてください。吸引しながら生食塩液をイリゲーションポートから注入し、カテーテル先端及びその周囲が十分に洗浄されていることを確認します。
2. コントロールバルブから指を離し、コントロールバルブブロックを「CLOSED」の位置にします。

〈アダプタの使用方法〉

MDIアダプタは吸入器による薬液定量噴霧吸入時に使用します。

1. 本品のTピースからサイドキャップを外し、オレンジ色のMDIアダプタに付け替えます。
2. MDIアダプタのポート部分を上向きになるようにします。
3. ポートに付属されているプラグ（ふた）をカチッと音がするまで押し込みます。
4. 薬液を噴霧する場合にはプラグ（ふた）を外して薬液ボトルの先端をポートに差し込みます。
5. 薬液ボトルキャニスタ部（薬液注入する先端部）をアダプタにしっかりと差し込みます。

6. 薬液投与する時は人差し指と親指で薬液ボトルとアダプタを押し込みます。定量投与を最大限有効に行うために人工呼吸器の吸引時に同調して投与を行います。
7. 処方量投与が終えたら、薬液ボトルを外し再度付属プラグをはめます。

〈使用方法に関連する使用上の注意〉

- 1) MDIアダプタは本品のみに接続して使用すること。
- 2) 薬液ボトルは逆さにして使用すること [適切な薬液投与を行うため]。

【使用上の注意】

〈重要な基本的注意〉

- 1) 本品はポリ塩化ビニルの可塑剤であるフタル酸ジ-2-エチルヘキシルが溶出する恐れがあるので注意すること。
- 2) 使用後はコントロールバルブが完全に閉じられていることを確認すること。
- 3) 呼吸回路を支えること。接続部の取り外しには、専用の取り外し器具（トラックウェッジ等）を使用すること [ねじれや偶発的な患者の気道からの外れを最小限に抑えるため]。
- 4) カテーテルは随時洗浄すること。カテーテルが閉塞した場合は、直ちに使用を中止し、適切な措置を施すこと [カテーテルが閉塞する恐れがあるため]。
- 5) 本品を気管切開チューブに対して使用する場合は、カテーテルを奥まで入れすぎないこと。そのような場合にはむしろ、気管切開チューブの長さに適した吸引器具を使用することを推奨する。
- 6) 同梱のラベルに使用した日付/時間を記録して使用すること。

〈相互作用（他の医薬品・医療機器等との併用に関すること）〉

1. 併用注意（併用に注意すること）

医療機器の名称等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
トランスデューサを搭載している人工呼吸器	人工呼吸器（トランスデューサ）の陰圧における耐圧限界を超えないように吸引圧を調整すること。	トランスデューサが破損する恐れがある。

〈不具合・有害事象〉

本品の使用に際して、以下のような不具合が発生する可能性がある。

- 1) その他の不具合

*・イリゲーションポートの破損、閉塞、狭窄

【保管方法及び有効期間等】

〈保管方法〉

本品を保管するときは、次の事項に注意すること。

- ・水濡れ、直射日光及び高温多湿な状態を避けて保管すること。
- ・化学薬品の保管場所やガスの発生する場所を避けて保管すること。
- ・保管時（運搬時も含む）は、過度な振動・衝撃等に注意すること。

〈使用期間〉

*・最長72時間で交換すること。ただし、72時間以内でも使用中、本品の閉塞、狭窄、その他の異常、機能不全等が認められた場合は直ちに使用を中止し、新品と交換すること。

〈有効期間〉

- ・本品の包装に記載されている「有効期間」までに使用すること [自己認証（当社データ）による]。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

*・〈製造販売業者〉

smiths medical

スミスメディカル・ジャパン株式会社

<http://www.smiths-medical.com/jp/>

*・〈問合せ先〉

フリーダイヤル 0120-582-855

〈製造業者〉

スミス メディカル インターナショナル Ltd.

Smiths Medical International Ltd.

〈国名〉

英国